

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2024年7月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで62年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2025年5月下旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

Facebook



X (旧Twitter)



Instagram



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2024年7月度ギャラクシー賞月間賞

ドラマ 10「燕は戻ってこない」

4月30日～7月2日放送 22:00～22:45 日本放送協会 NHKエンタープライズ

代理出産という重いテーマを通して地方出身の若い女性の貧困や妊娠・出産、性の問題に切り込んだドラマ。桐野夏生の原作にないシーンも秀逸で、長田育恵が「らんまん」とはまったく異なる脚本で実力を見せた。石橋静河をはじめとするキャストの演技も素晴らしく、丁寧な演出とも見事にかみ合って、質の高いドラマが生まれた。

FNSドキュメンタリー大賞参加作品「58年 その先に―袴田事件と再審法―」

7月3日放送 27:10～28:10 テレビ静岡

袴田事件のこれまでの経緯を簡潔にまとめながら、差し戻し審でも指摘された証拠ねつ造疑惑をしっかりと検証し、裁判過程における検察の証拠非開示の理不尽が、真実解明と再審への大きな妨げとなってきたことを説得力ある取材で伝える。この裁判の動向のみならず、まずはこの司法の不備を正すことが今、切実に求められている。

クローズアップ現代「“隠された”被ばく者 ビキニ事件70年・救済を巡る闘い」

7月17日放送 19:30～19:57 日本放送協会

太平洋上における原爆実験による放射能被爆が、第五福竜丸以外の多くの日本漁船にも広範囲に深刻な事態を招いていた、という事実を改めて明示する。元南海放送の伊東英朗氏などが長く報じてきた事案だが、この近年いつしか次第に風化し忘れられかけている状況にあるなか、このように繰り返し声を上げることは極めて意義がある。

ETV特集「“法”の下の沈黙～優生保護法の罪 1948-2024～」

7月27日放送 23:00～34:00 日本放送協会

最高裁判決で違憲とされた旧優生保護法。医学的根拠も弱かったこの法が戦後の人口対策を背景に生まれ、長く見過ごされた上に国際的な批判により法改正（1996年）に至った史実が嘆かわしい。手術を受けた人々がいかに声を上げづらかったかが切実に伝わる。理不尽な人生を背負わされた苦悩の声が国家の大罪を浮き彫りにした。

★詳細は月刊誌「GALAC」2024年10月号に掲載します